



深小っ子だよ

こころざし高く
思いやりのある
深小っ子の育成

第4号
R6.6.25 発行

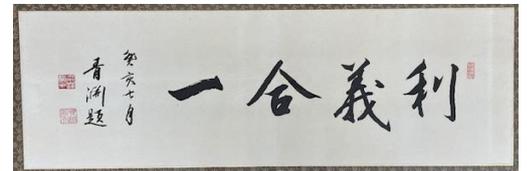
渋沢栄一翁 新1万円札の発行

眩しい日差しが降り注ぐ季節になってきました。

いよいよ7月3日（水）の渋沢栄一翁を肖像とする新1万円札の発行が近づいてきました。本校でも、カウントダウン掲示や、当日は全校朝会を行い、自作のくす玉を開き、全校をあげてお祝いをしたいと考えております。また、七夕の笹には、栄一翁の1万円札を模した紙に、願いを書き込み飾る予定です。

さて、本校には、右のような渋沢栄一翁の書があります。

『利義合一』は、渋沢栄一翁がその著書「論語と算盤」で貫かれた基本的な考え方です。また、「道德経済合一説」の中で栄一翁は次のようなことをおっしゃっています。



『仁義道德と生産殖利とは、元来共に進むべきものであります』

道徳的な観念をもった正当な生産殖利によって産業活動を活発化させる必要性が述べられています。また、同説では公益を第一とする考え方も述べられています。栄一翁の願いは、「みんなが幸せに暮らせる社会を実現すること」だったのではないかと考えます。

最後になりますが、校長会では、片桐教育長さんから、今後、深谷市出身の方でお札の肖像になる人はまず出ないのではとのお話がありました。また、ある記事では、現在の50代の人々の約半数が電子マネーを活用していることから、新札の発行が約20年とすると、この渋沢栄一翁の1万円札が流通する最後の1万円札になるのではないかと報じておりました。そのようなことも踏まえ、深谷市にとって歴史的な1万円札の発行でありますので、改めて、郷土の偉人である渋沢栄一翁が大切にした「立志の精神」と「忠恕の心」をしっかりと子供たちに伝える機会にしたいと思っております。ぜひ、家庭・地域でも話題に取り上げていただければと存じます。

修学旅行 林間学校 青天の下 実施

5月29日（水）・30日（木）に5年生の林間学校（小川げんきプラザ）、6月12日（水）・13日（木）に6年生の修学旅行（鎌倉・東京方面）が実施できました。5年生、6年生ともに天候に恵まれ、実行委員を中心に、計画通り全ての行程を行うことができ、子供たちも大変喜んでおりました。保護者の皆様には、事前準備等、またお迎え等にご協力いただきありがとうございました。深く感謝申し上げます。



